

北海道総合福祉研究センターニュース No. 33

2022. 1. 1

巻頭言

「死んだら、どうしてほしい？私は・・・こうしてほしい」

理事長 五十嵐教行

自分が死んだらどうしてほしいかということについて考えてみたい。新年早々、縁起が悪く感じられるかもしれないが、おつきあい願いたい。我が身の死とその後の我が身の取り扱われ方は、自身にとってすごく大切で重要なことであるが、残念ながら自身が関与することは難しい。多くの方は、おそらく自分のお式を自身でプロデュースしたいのではないかと思う。筆者は以前から友人や研究センターのスタッフに特に自身の通夜のあり方について説明し、そしてそれを実現してもらえるようにとお願いをしている。

さて、筆者は死んで、自宅の神棚の前で寝ていると仮定する。直後の筆者の枕元には、ご飯がお茶碗に山盛りでまんまるになってよそってある。そして割り箸がそのご飯のど真ん中にまっすぐに突き刺さっている（こうした作法(?)は私の出身地ではフツーだが、どうやら全国共通ではないようだ)。まずこれがいやなのだ。なぜ白飯だけしかないのか、しかも割れていない割り箸のままでは食べられないではないかと思ってしまうのである。だから筆者は彼らに頼むのである。箸は割って茶碗の前に置いて欲しい、そしておかずはぜひともつけて欲しいと。すると必ず彼らは「何のおかずが良いのか」と訊いてくれる。そこで私はいつも考える。死んだ後であっても、ほんの少し前までは生きていたわけだから、やはり食べ残してあったおかずを気にしているのかもしれないしナーと。けどせっかく死んでから最初にいただく食事なんだからと考えると、けっこう悩む。考えるたびにおかずの内容が変わるので、自分はけっこう食い意地が張っているのだと感じる。現在はタラコとすじこの2大魚卵を基本として、牛すじの煮込みをリクエストしたい。

次に、斎場にて通夜の儀式が始まる。お式が始まるまでの間、会場には私のラジオ番組をBGMとして流してもらいたい。その際にはいつの放送であってもかまわない。

通夜の儀式が終わると、参列者のための食事やお酒が振る舞われる。その時が問題だ。筆者は祭壇の一番下で、静かに棺桶の中で横たわっている。祭壇の前では皆が酒を飲んで話をしているわけだ。筆者の弔いのために集まってくれたのに、筆者はその話しの輪の中にはいないのである。時々、短くなつたろうそくを新しい物と取り替える時に祭壇に来てくれるけれど、やはり寂しい。実はここが肝心なお願いなのである。ぜひ叶えて欲しいと念を押して伝えているお願いなのだ。それは、祭壇から棺桶を出して皆の輪の中に加えてもらえないかという願いである。筆者だって楽しみたいのである。久しぶりに会う人が必ずいるはずだ。挨拶だってしたいし本日のお礼もしたい。もちろん、つもる話が筆者にもあるのだ。朝まで飲もう！と言いたいのだ。途中で帰宅する人が出てくれば、見送りはしたいし、その人が家にたどり着くまで、事故なんぞに合わないようにと無事を祈りたい。今日という日は、あの世での私にとっての最初の最良の日なのである。

ところで、その輪の中にある棺桶なのだが、弔問に来ていただいた方に、この棺桶に直に私への寄せ書きを書いてもらいたいのだ。きれいな布につつまれてしまうよりも、いろいろ色のマジックで書かれた寄せ書きでにぎやかになった棺桶とともに、あの世へと続く扉の向こうへ向かいたいと思うのである。あっ、棺桶の中には花ではなくて、私が愛用した広辞苑のページを1枚破って入れて欲しい。あの世でも執筆したいから。

最後に。筆者からの提案を一つ。

毎年恒例行事として年に一度、家族がそろそろような日に自分のお式について話をしてはいかがでしょうか？逝く人も送る人も納得のいくお式を手に入れるために……。

「大丈夫か！？国試！」zoomでの勉強会「利用者理解」コースの講義内容より

毎年実施される社会福祉士国家試験ですが、出題される事例問題をみていくと、私たちの感覚から少しズレているように感じられる事例の内容や若干の違和感を感じる文章表現があったりします。あくまでも筆者個人の感想ですが、紹介いたします。

第33回問題97 事例を読んで、多職種連携の観点から、この時点でのT市の地域包括支援センターのB社会福祉士の対応として、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

正解／2. 5

担当地区の民生委員のCさんより、一人暮らしのDさん(80歳,男性)のことでT市の地域包括支援センターに相談の電話があった。Dさんは3か月ほど前に妻を亡くした後、閉じ籠もりがちとなり、十分な食事をとっていないようである。Dさんはこれまで要支援・要介護認定は受けていない。B社会福祉士がDさんの下を訪ねたところ、Dさんは受け答えはしっかりしていたが、体力が落ち、フレイルの状態に見受けられた。

- 1 法定後見制度の利用を検討するため、弁護士に助言を求める。
- 2 サロン活動の利用を検討するため、社会福祉協議会の福祉活動専門員に助言を求める。
- 3 日常生活自立支援事業の利用を検討するため、介護支援専門員に助言を求める。
- 4 介護老人福祉施設への入所を検討するため、医師に助言を求める。
- 5 栄養指導と配食サービスの利用を検討するため、管理栄養士に助言を求める。

■筆者の感想

3ヶ月前に妻を亡くした夫の事例だが、この3ヶ月という時間をどうとらえるべきか。筆者は母親を30数年前に亡くしている。当時のことを思い出すが、亡くなってから数ヶ月間の記憶が曖昧なのである。何もする気になれず、流れの中で淡々と仕事をこなしていたようだ。けれど、どこか地に足がついていなかったように思う。3ヶ月が過ぎた頃、同僚たちがそんな筆者を心配してくれて、食事に連れ出してくれた。久しぶりの外食で、しかも楽しい気持ちになれたことが新鮮だった。きっと筆者から活力などが感じられなかったから、すごく気を遣ってくれたのだと思う。

さて、この事例に戻って考えてみよう。筆者の体験をもとにすると、配偶者を亡くしてからまだ3ヶ月しか経っていないのなら、夫は気が抜けて何もしたくなく、どこにも出かけたくないのではないかと思うのである。だから、事例の様子はごく普通の反応ではないかと考えられる。一人でいるから、食べたい気分にはなれず、動きたくもないか徐々に体力が落ち、フレイルになってしまうことは理解できる。しかし、その状況が専門家による支援の必要性につながるとは考えられないのである。

妻を亡くして、日常的な話し相手がいなくなって、たまらずに寂しい気持ちが癒えづらい時期が続いていると考えられないだろうか。時が解決してくれることもあるのだ。

仏式を基準で考えると、四十九日法要が終わるまでは残された家族はとても忙しいと言う。それが終わって、ようやく一段落がつく。すると気が抜けるようなのだ。その時にそれまでの疲れがどっと出てくるとのことだ。寝込む人もいるとか。

もっとも民生委員のCさんが心配してしまうことも理解できるから、B社会福祉士には、ぜひともゆるやかにDさんを見守って欲しいと思う。サロン活動や管理栄養士については、この時点ではまだ先の話ではないだろうか。

ところで、この事例では、この夫のことを「一人暮らしのDさん」と言っているが、筆者には、「一人暮らしのDさん」とは言い切れないのだ。「一人暮らしになったDさん」と言いたいのである。なぜなら、まだたったの3ヶ月間しか経っていないからだ。さしづめ「一人暮らしデビュー」ってところだろうか？みなさんはどう考えますか？

「へー、そうだったのか！」シリーズ

第2回 「シマフクロウは絶滅危惧種だった！」

■ 2021年4月下旬に札幌市円山動物園で、初めてシマフクロウのヒナがふ化(2021年5月13日確認)しました。このシマフクロウは野生復帰施設(非公開施設)で飼育されています。

シマフクロウは、我が国では北海道及び北方領土に生息しており、全長70cm、翼を広げると約180cmの世界最大級のフクロウです。20世紀初頭までは、北海道全域に分布していましたが、森林伐採による営巣木の減少と河川改修や砂防ダム建設による餌の魚類の減少等により生息数が減少し、北海道内(といっても知床・根室・十勝・日高地域のみ)の生息数は、約70つがい(ペア)で160羽程度です。

シマフクロウは、絶滅のおそれが最も高い**絶滅危惧ⅠA類**に指定されています。ちなみにこのうちの約半数は、良好な自然環境が保全されている知床地域に生息しています。

■ ここで「絶滅危惧種」について説明します。

「絶滅種」～動植物のなかで、1個体も生存しなくなった状態

「絶滅危惧ⅠA類」～ごく近い将来に野生での絶滅の危険性がきわめて高い種

「絶滅危惧ⅠB類」～ⅠA類ほどではないが、近い将来に野生での絶滅の危険性が高い種

「絶滅危惧Ⅱ類」～絶滅の危険が増大している種。

* 以前は、絶滅危惧ⅠA類と絶滅危惧ⅠB類は「絶滅危惧種」、絶滅危惧Ⅱ類は「危急種」として分類されていた。

* 日本版レッド・リストには、絶滅危惧種は、哺乳類48種、鳥類90種、汽水・淡水魚類76種、両生類14種、爬虫類18種、昆虫類139種、陸・淡水産貝類251種、甲殻類等25種、クモ類・多足類等8種、植物では維管束植物(種子植物、シダ植物)1665種、維管束植物以外の植物(蘚苔類、藻類、^{せんたい}地衣類、菌類)329種があげられた。

■ シマフクロウが巣をかけるためには、樹齢300年以上の大木が必要です。現在はそのような大木がないため巣箱で代用しています。2019年時点で、国や民間などにより巣箱が約200個、給餌用生け簀は10ヶ所に設置されています。これまでの保護活動の結果、3～4年で10つがい程が増えるようになってきましたが、それでも年に30羽ほどのヒナしか巣立ちません。また巣立ちしても分散できる河畔林は少なく、うまくつがいになれても、子育てができるほどの餌がある場所は少なく、多くが子育てに失敗するようです。

また、生息地が分断・孤立化していることで、繁殖地から巣立った若い個体がうまく分散できず、近親交配が起りやすい状況にあることも懸念されています。

人間の生活圏に近い場所では、交通事故にあたり、電線に触れて感電死するものもいます。釣り人や心無い撮影者などにより、採食や繁殖が妨害されている生息地もあります。

■ シマフクロウはアイヌ語で、「コタンコロカムイ(村を守る神)」、「カムイチカプ(神の鳥)」、「フムフムカムイ(フムフムと鳴く神)」、「ニヤシコロカムイ(木の枝を所有する神)」、「アノノカカムイ(人間の姿をした神)」、「カムイエカシ(祖先の神)」、「モシリコロカムイ(大地を守る神)」などと呼ばれ、北海道の多くの地域で「カムイ」として崇められてきました。道民にとってもシマフクロウはなじみが深い動物の一つです。

※ 参考文献 / (公財) 日本野鳥の会のホームページ

札幌市円山動物園のホームページなど

「社会福祉施設を作るとすれば」の記事について、その後

No. 31号(2021. 7. 1発行)で、「もし、理事長が経営するとしたら・・・こんな施設!？」の記事を読んだ人たち、このセンターニュースは道内外にも送付していますが、道外からもいろいろと問い合わせがあります。「施設をつくる気なのか?」「どこに作るのか?」「いくらで入れるのか?」などなどです。

正直に答えますと、2年後をメドに有料老人ホームを作りたいと考えています。お金もないのにムチャな願いを立てておりますが、理事長が本当に作るなら、働きたいと申し出てくれる人がすでに複数人います。しかもその人たちは全て有資格者でした。有資格者の確保に苦労している施設経営者が多いと聞きます。ですから、まだ何も始まっていない段階でこのような申し出をしてくださることはありがたいことで、まことに感謝です。絶対実現したいと思います。これまでに培ってきた体験と経験をこの事業に注ぎたく考えています。

土地並びに物件などなど、何か情報がありましたら、ぜひとも教えていただけますようお願いいたします。

【北海道総合福祉研究センター会員登録をお願いいたします】

北海道総合福祉研究センターは、特定非営利活動法人として活動しており、当法人は、社会的活動の内容に賛同してくださる方からの会費収入と事業収入により運営いたしております。そこで、当センターの活動主旨にご賛同いただける皆様に、正会員(個人)および賛助会員(企業・団体)の登録をお願いいたします。

会員の皆様には、「北海道総合福祉研究センターニュース」や「ちょっと不思議」のハガキ、当センター主催の各種研修・講座等のご案内をお送りいたします。理事長の五十嵐は、「傾聴」についての研究のほか実践活動もしております。自分の中でからまってしまった思いなど、誰かに話をしたらラクになるという体験を多くの人は持っています。ところが、いつの間にか、話のできる相手がいなくなっていることに気づき、孤独感を感じることもあります。そういうとき、どうぞ理事長の五十嵐の傾聴を利用してみてください。どういう話でも、しっかり聴きます。一度お電話してみてください。お応えできると思います。

この機会に是非ご入会のご検討をさせていただきますよう、お願いいたします。登録用紙が必要な方には郵送いたしますので、ご連絡くださいませ。

- (1) 正会員 (個人)
年会費 3,000円
- (2) 賛助会員 (企業・団体) 年会費 10,000円(1口)
- ※ 年会費のお支払いは、次のいずれかにお振り込みください。
- | | | | |
|-------|------|------|---------------|
| 北海道銀行 | 白石支店 | 普通口座 | 0803475 |
| 北洋銀行 | 北郷支店 | 普通口座 | 0665741 |
| 郵便振替 | 口座番号 | | 02770-1-60492 |

【編集後記】

10月中旬に、日常的に使用していたUSBが壊れてしまいました。復旧のために専門業者に頼みましたが、復旧不可と回答がありました。そういうときに限ってバックアップも取っておらず、およそ半年間のデータがきれいになりました。“所詮、パソコンなんて機械なんだよ！当てにできないんだ”と思い知らされてしまいました。トホホ。(五)

発行日 2022年1月1日
発行者 五十嵐教行
発行 特定非営利活動法人北海道総合福祉研究センター
〒003-0028 札幌市白石区平和通2丁目南6-23-210
電話 090-8638-7264
FAX 011-595-7400
E-Mail hsfkc@minos.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.hsfkc.org

